

2025年度 学校保健計画

1 認定こども園飯田ルーテル幼稚園の規模

・満1歳から就学前までの子どもを対象とした、私立幼保連携型認定こども園。定員は80名。うち0、1、2歳児が20名 3歳以上が60名である。

2 認定こども園飯田ルーテル幼稚園の保健計画

月	目標	行事と活動	留意事項	対物管理	組織活動
4月	気持ち安定して健康な園生活を送ることができるような環境作りを行う	身体測定	・病歴や体調、配慮することなどについて保護者から聞く。聞いた内容については、職員間で周知徹底する。 ・感染症等に注意	救急薬品の点検 保健調査表の確認	○病歴や体調、配慮することなどについて保護者から聞く。聞いた内容については、職員間で周知徹底する。
5月	健康な生活リズムを作る	身体測定 衣服の調節・汗の始末	・事故予防と環境の点検整備 ・感染性胃腸炎への対応	健康診断関係の書類の点検・確認	○感染症等については感染児がでた場合はその都度、保護者に手紙を配布し、注意を促す。同時にホームページでも記載。
6月	手洗いの習慣をつける	身体測定 内科検診 眼科検診 歯科検診 尿検査(年中児・年長児) 紫外線対策(ひよけ) 水遊び時の着替え	・梅雨時期でもあるので、室内・園庭・身体の衛生に気をつける	健康診断記録の記入・保護者へ伝える	○健康管理表を活用し、全園児の健康状態が常に把握できるようにする。
7月 8月	水に親しみながら体のリズムを整える	・身体測定 ・職員検診開始(2月まで) ・ドリームタイムの活用 (休息) ・熱中症対策 ・薬剤師による消毒指導	・プールの衛生管理 夏の疲労、水分摂取に注意する ・エアコンを使用しての気温調整 ・虫刺され・とびひ・汗も夏の感染症についてのお知らせを出す。	・プール安全点検 ・プールの消毒 ・水いぼ・とびひの対応の徹底	○子ども、園で受診する場合の緊急連絡先の把握。 ○衛生指導 ・手洗い ・トイレの使い方
9月	生活リズムを整える	・身体測定 ・熱中症対策	夏の疲労がでやすい時期でもあるため、体調の変化には十分に留意する。過度な運動をとらないようにする	救急薬品の点検 保健調査表の確認	・給食指導 ・歯磨き指導 ・うがいの仕方 ・排便後の処理方法 ・排尿後の処理方法
10月 11月	寒さに向かった体の作り	身体測定 内科検診・歯科検診	外遊びの充実と計画 園庭の安全点検・設備点検	保健調査表の確認	
12月 1月 2月	寒さに負けず、元気に過ごす清潔習慣をつける インフルエンザ等の季節性の感染症の予防に努める	・身体測定 ・手洗い・うがいを丁寧に ・必要に応じて、アルコール消毒 ・衣服の調節・湿度の確認	寒さが厳し日以外は、外気に触れて遊ぶ。手洗い、うがいの奨励。 快適な室温と湿度の設定。	暖房器具の確認 加湿器の確認と手入れ	
3月	1年間の成長発達の確認・記録	・身体測定	・進級・就学に向けて、心も体も成長したことを確認する。	各種書類の記入	

健康習慣	清潔習慣	保健面をお願い
・早寝・早起きの習慣をつける ・朝食は1日のエネルギー。必ず食べて登園する ・早起きと朝食で、排便の習慣をつけていく ・薄着は、皮膚を丈夫にし、抵抗力を高めるので、個々の体力に合わせた無理のない薄着習慣をつける。	・朝、顔を洗う ・食後の歯磨きの習慣づけと仕上げ磨きで歯の健康を守る ・乳幼児は新陳代謝が活発なため、入浴や衣服の清潔に心がける。 ・衣類の汚れに配慮する。 ・前髪は目にかからないようにし髪は清潔にする。	・季節にあった衣服の用意をする。 ・子どもの体調は急変しやすいので、気になる様子があったら、送迎時・連絡ノートで必ず職員に伝えるように指導する ・園児健康診断の結果を知らせ確認していく

3 看護師の位置づけ

定員外配置として位置づけられてるため本園では、配置していない。(0才の受け入れが行われていない)

4 保育計画の立案状況

2017年度より、保健計画を作成している

5 保育計画の特徴

組織として行うこととし(書類管理・保護者の対応)、組織活動と対物管理の項目を設けている

6 健康管理上のポイント

- ①毎日の健康観察
- ②保護者及び子どもに計画的に健康教育を実施

7 保健計画運営上の配慮

計画を立て、実際に行いながら会議等で検討し変更等を行っていきながら進めていく。

8 保護者への周知

5月 保護者会総会
年3～4回 保健便りにて知らせたり、感染症が出た場合、お便りで知らせている。
クラスの病欠連絡や行事報告などは、掲示板を活用し、周知を行っている。

9 保健計画評価と課題

・保健計画の明確な評価は、今後の検討課題である。